

国立大学法人 東京大学医学部附属病院 リハビリテーション部 精神科デイホスピタル部門 精神保健・臨床心理デイケア研修プログラム

東京大学 履修証明プログラム
2024年度 第34期研修生募集

●コースの紹介

当コースは、精神疾患当事者（主に統合失調症）の**リカバリー**に関して、実務研修を通じてその心理社会的実践技法を修得し、あわせてその背景理論も学習することにより、広い視点を身につけた精神科リハビリテーションの専門家を養成することを目的としています。

規定カリキュラムの全ての課程を履修することで履修証明書が交付されます。

*リカバリー：リカバリーとは、個人の態度や価値（本人にとって大切なこと）、感情、目標、技術や役割が変化していく過程のことで、これはとても個人的で、人によって異なる過程である。精神の病気に制限があったとしても、何かに貢献し、希望にあふれ、満たされた生活を送る生き方である。

基礎コース（1年目）

集団場面を通じて個人への接し方と障害の把握の仕方、治療者としての振る舞いを修得します。デイケアの治療構造、SST（社会生活技能訓練）、心理検査、精神医学全般について、講義や院内及び地域の関連機関の見学を通して見識を深めます。

SST普及協会認定講師によるSST初級リーダー講習に参加し、SSTのリーダーをするための知識を蓄えます。

当事者と同じ目線で集団に参加する経験は、病気がどう生活にかかわっているかを知る貴重な機会となります

専門コース（2年目）

〔前期〕**指導を受けながら治療的関わりを知る**：医療スタッフの担当ケースを通して、個人の障害を客観的に理解し治療に必要な実践スキルを修得します。またスタッフの視点で集団に参加し、集団運営の基礎的事項を修得し、SST等のリーダー研修もします。

〔後期〕**スーパーヴァイズのもと治療的関わりを目指す**：スーパーヴァイズのもとに集団運営の研修をします。当事者の就労・就学の援助をする中で、社会資源の有機的な利用をマネージするスキルやアウトリーチ支援の研修をします。また、希望に応じて幅広い精神科医療における研修に参加することも可能です。

●修了生体験談

17期生 五十嵐美紀

（現所属：昭和三十九年附属病院 精神保健福祉士）

私は福祉系の大学を卒業しデイケアの研修生となりました。精神保健福祉士の実習中、業務に追われ限られた時間だけで患者さん方と接している実習指導の先生の姿を見て、やっていける自信がなくなりもっと患者さんとの接し方を勉強したいと思ったのが研修生への動機です。

研修当初はメンバーと同じ立場でプログラムに参加するなど、メンバーがどういう生活をして、どういうことを考えているのかを生で感じることができました。担当を持つようになってからは、疑問に思ったこと、嬉しかったこと、ショックだったこと、どんなことも真剣に受け止めてくれる先輩スタッフの方がいることが、私にとって一番勉強になりました。そのことで安心することができ、少しずつメンバーとの関わりに自信を持っていくことができたように思います。

関心を持って頂けたらご応募頂けると思います。

21期生 矢島明佳

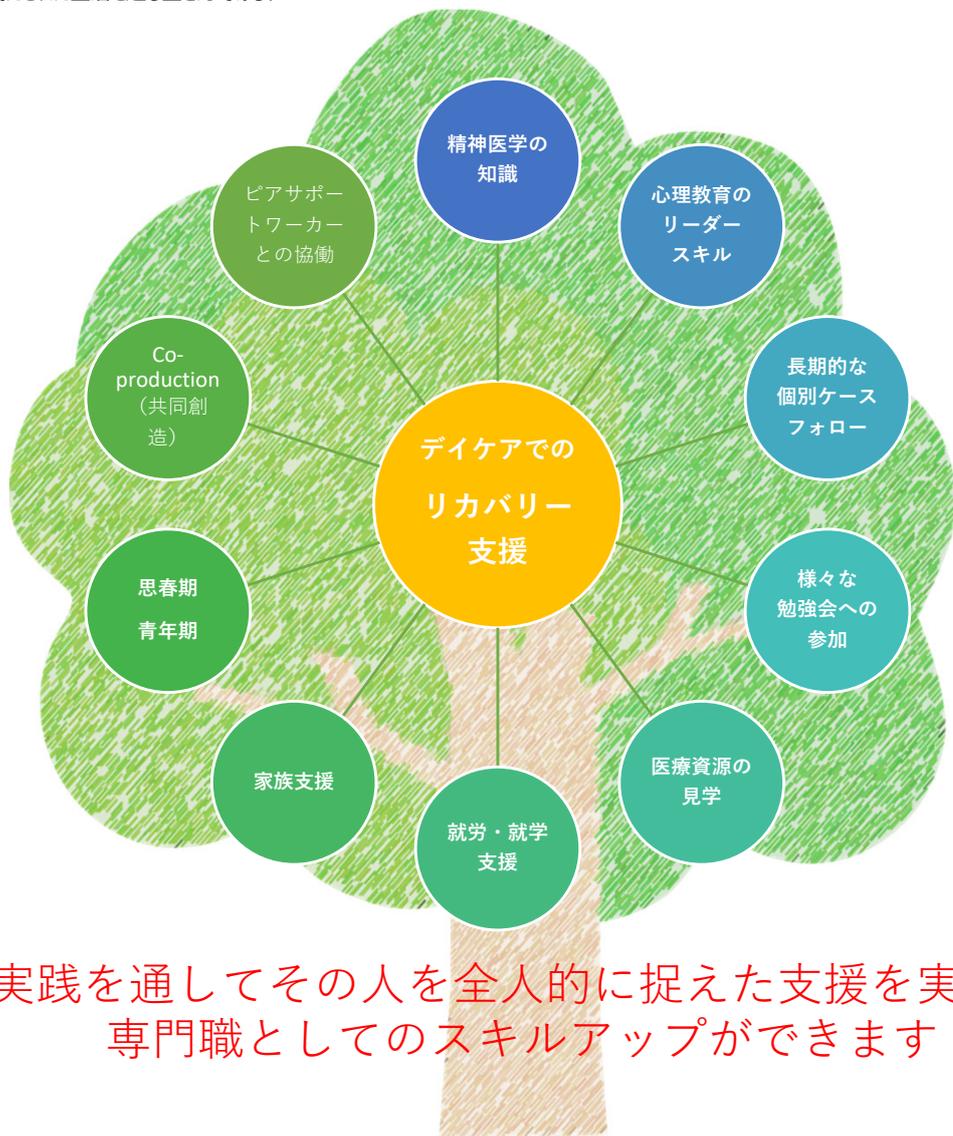
（現所属：東京大学医学部附属病院 臨床心理士）

私が研修を志望したのは、心理系大学院での2年間の学びの後すぐに一人で臨床をする自信がなく、精神科医療の現場で学ぶことでどの領域でも働く自信がつかうと思ったからです。

実際、2年間の研修が終わるころには医療のほか、教育、福祉、産業などの分野でも一人で働けるという自信がつかいました。それは、研修を通して①患者さんと密に関わり対応の仕方を学べたこと、②精神科医療や心理療法、社会資源などに関する幅広い知識を体験を通して学べたこと、③先輩スタッフの方がどんなときでも細やかに指導してくださったことによると思います。

引き続き東大病院の精神科デイケアで臨床心理士として勤務していますが、現在も患者さんやスタッフから学ぶことはとても多く、充実した仕事生活を送っています。

ぜひご応募いただけたら嬉しいです。



実践を通してその人を全人的に捉えた支援を実現し
専門職としてのスキルアップができます

●説明会:2023年8月25日（金）16:30～

※Bコースの概略については以下をご覧ください。

https://docs.google.com/document/d/1KVIJG1_Viu65JmWQ8YGIam2WYrLd44f_rSQiNGcA/

●応募について 出願締め切り2023年9月12日必着

出願書類・出願先など詳細は<https://co-production-training.net/application/>をご覧ください。
書類選考合格者には日程調整の上面接（Zoomの可能性あり）、実地試験があります。

*本コースの対象は、医療・学校・行政（保健・福祉）などの領域で対人支援職を目指す方、または既に対人支援に従事されており、さらに高度な知識・技術を身につけようとする方（例：臨床心理士、公認心理師、精神保健福祉士、社会福祉士などの資格受験資格を有する方または有資格者）となります。